［ 地域医療サービスセンター ］

医療相談室

係長　武田　美樹

1 業務体制

地域医療サービスセンター
- 地域医療連携室　（７名）
- 医療相談室　（５名）
- 入退院支援室　（専任16名）
- まごころ課(総合相談窓口)（１名）
- 広報チーム　（ＹＭＧ本部３名）

※まごころ課‥2025年7月より医療安全管理室配属

●人員構成（2025年４月１日～2026年３月31日）

職員数		2025年度（対前年度）		
2024	2025	増員	減員	差引
5	5	1	1	0

【資格および認定資格取得者】

・社会福祉士（既取得者５名）
・精神保健福祉士（既取得者２名）
・社会福祉士実習指導者（既取得者３名）

2 業務内容

保健医療機関において、社会福祉の立場から患者やその家族の方々の抱える経済的・心理的・社会的問題の解決、調整を援助し、社会復帰の促進を図る。

外来・入院患者の支援、各科カンファレンスの参加、地域医療サービスセンター合同ミーティング、地域会議への参加、YMG内連携会議、居宅サービス連絡会、退院前カンファレンスの開催、各種リーフレット作成、関連施設・病院挨拶回り。

3 業務状況

部署目標達成を目指し、部署として能動的に業務にあたった。

また、地域医療サービスセンターとしてより効果的な業務遂行を目指し、協議を重ね、退院支援を進めた。またＹＭＧ内の連携を深め、効果や課題が見えた１年となった。

4 特に力を入れたこと

●早期介入・多職種他機関との連携・スクリーニングの強化

在院日数短縮を目指し、毎朝地域医療サービスセンター合同スクリーニングを実施し、入退院支援室との協働等で早期介入に努めた。他にも各科カンファレンス、退院前カンファレンス等で多職種他機関との連携強化を行った。入退院支援計画書は、入退院支援室と協働で取得を行い、前年度409.1件/月に対し428.5件/月と件数を増やし、早期退院支援に努めた。また、長期入院患者のカンファレンスを入退院支援室と合同で実施することで、支援内容の見直しや退院支援の質の向上につなげることができた。

●部署目標への取り組み

今年度はYMG統括連携室の立ち上げに伴い、YMG施設への転院件数の増加と課題改善を目指した取り組みにより重点的に取り組んだ。結果、前年度347件の転院件数に対し498件と転院件数を伸ばすことができた。また、当院が求める後方連携先を増やすべく、挨拶回りを強化した結果、在宅療養が困難かつ様々な社会背景があるケースにおいて、受け入れ先が増え、退院支援に貢献することができた。

●部署内の力量底上げ

研修参加の他、勉強会の強化、スーパービジョンを実施した。それぞれ明確な目標を掲げ、意欲的に取り組んだ。

●業務の効率化

退院調整システムの活用に加え、生成AIユビーやキーエンスの活用により、面談記録時間の短縮やADL表作成の自動化、集計作業時間の短縮等を達成することができた。これらの業務の効率化により、人員体制が厳しい中でもSWの介入件数を伸ばすことができ、結果として本来の業務に注力できる体制づくりにつながった。

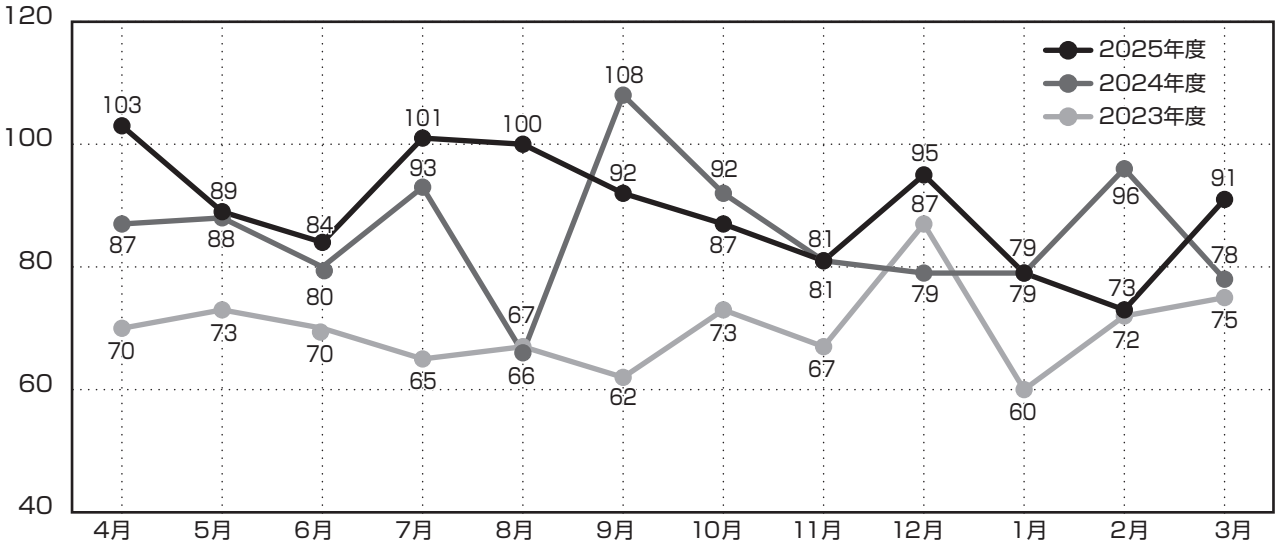
5 今後の課題

超高齢化社会におけるコミュニティの脆弱さ、社会背景の複雑化は年々顕著となっており、かつ退院支援に求められるスピードや支援の質は高くなっている。そのため、地域医療サービスセンターに期待される役割を果たすべく、

医療相談室としてよりハイレベルな支援を提供できるよう今一度取り組みを見直す必要があると考える。さらに、今後病院目標である平均在院日数10日を達成すべく、当センターのみならず病院としてよりスムーズな退院支援が行えるようなシステム作りも検討していきたい。

働きやすい職場環境づくりを進め、院内外より信頼され、あらゆる状況に柔軟に対応できる活力ある部署となっていきたい。

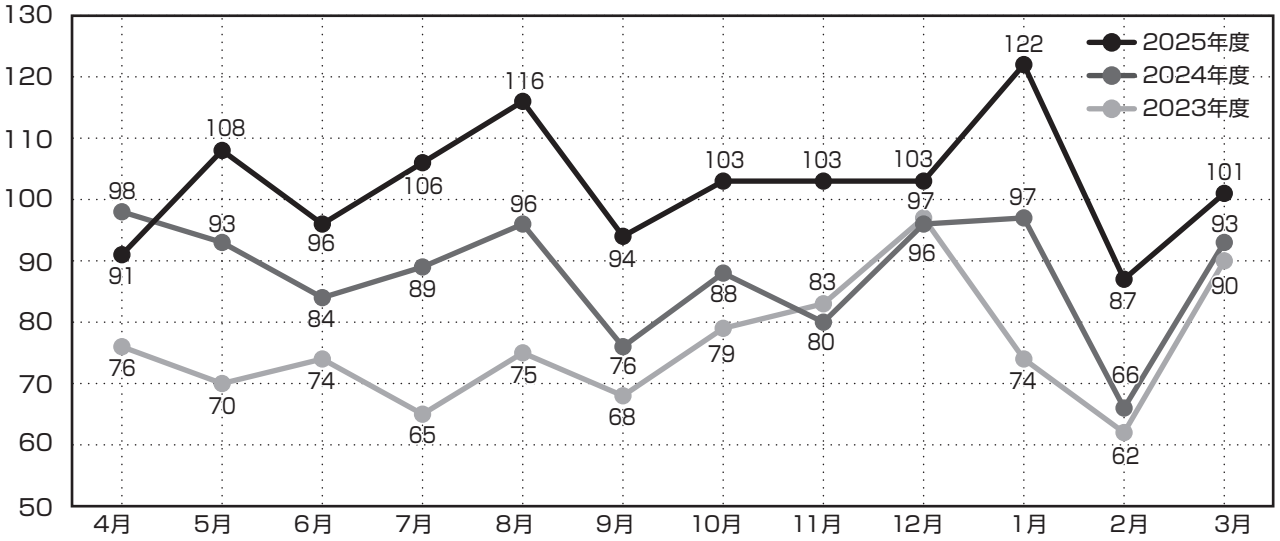
●退院支援件数



単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2025年度	103	89	84	101	100	92	87	81	95	79	73	91	1,075
2024年度	87	88	80	93	66	108	92	81	79	79	96	78	1,027
2023年度	70	73	70	65	67	62	73	67	87	60	72	75	841

●依頼・介入件数



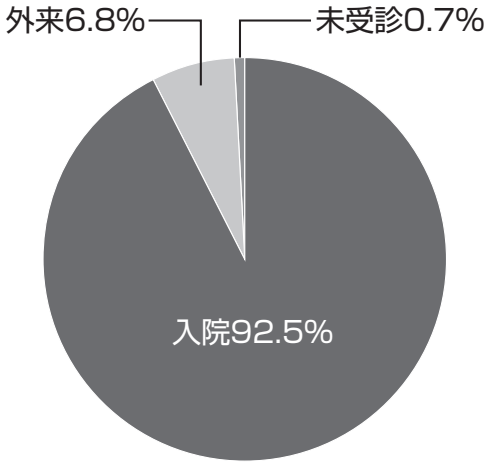
単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2025年度	91	108	96	106	116	94	103	103	103	122	87	101	1,230
2024年度	98	93	84	89	96	76	88	80	96	97	66	93	1,056
2023年度	76	70	74	65	75	68	79	83	97	74	62	90	913

●援助内容

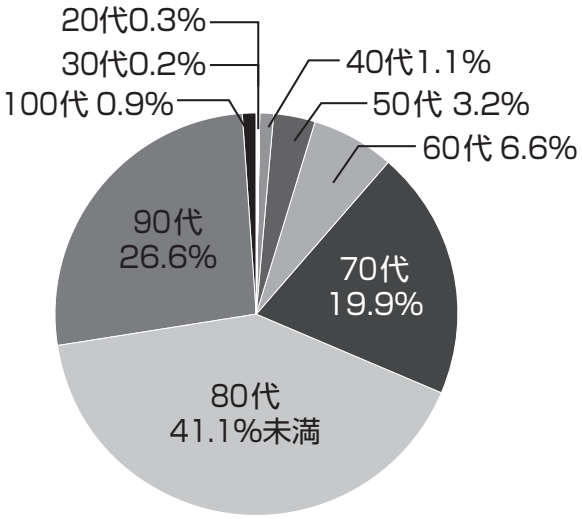
相談の入院・外来別内訳　　単位：件

[入外内訳]	2025年度		前年度	
入　院	1,138	92.5%	1000	93.5%
外　来	84	6.8%	60	5.6%
未受診	8	0.7%	9	0.8%



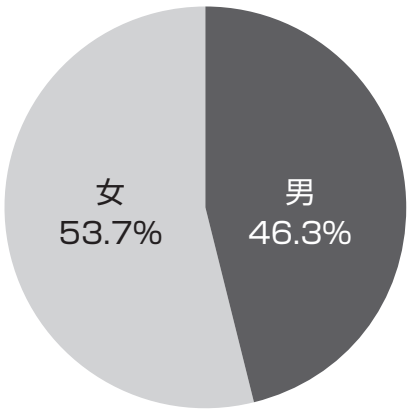
相談の年代別内訳　　単位：件

[年代別]	2025年度		前年度	
20代	4	0.3%	2	0.2%
30代	3	0.2%	2	0.2%
40代	14	1.1%	12	1.1%
50代	41	3.2%	41	3.9%
60代	84	6.6%	95	9.1%
70代	253	19.9%	249	23.7%
80代	522	41.1%	426	40.6%
90代	337	26.6%	215	20.5%
100代	11	0.9%	7	0.7%



相談の性別による内訳　　単位：件

[性別]	2025年度		前年度	
男	587	46.3%	539	50.9%
女	682	53.7%	520	49.1%

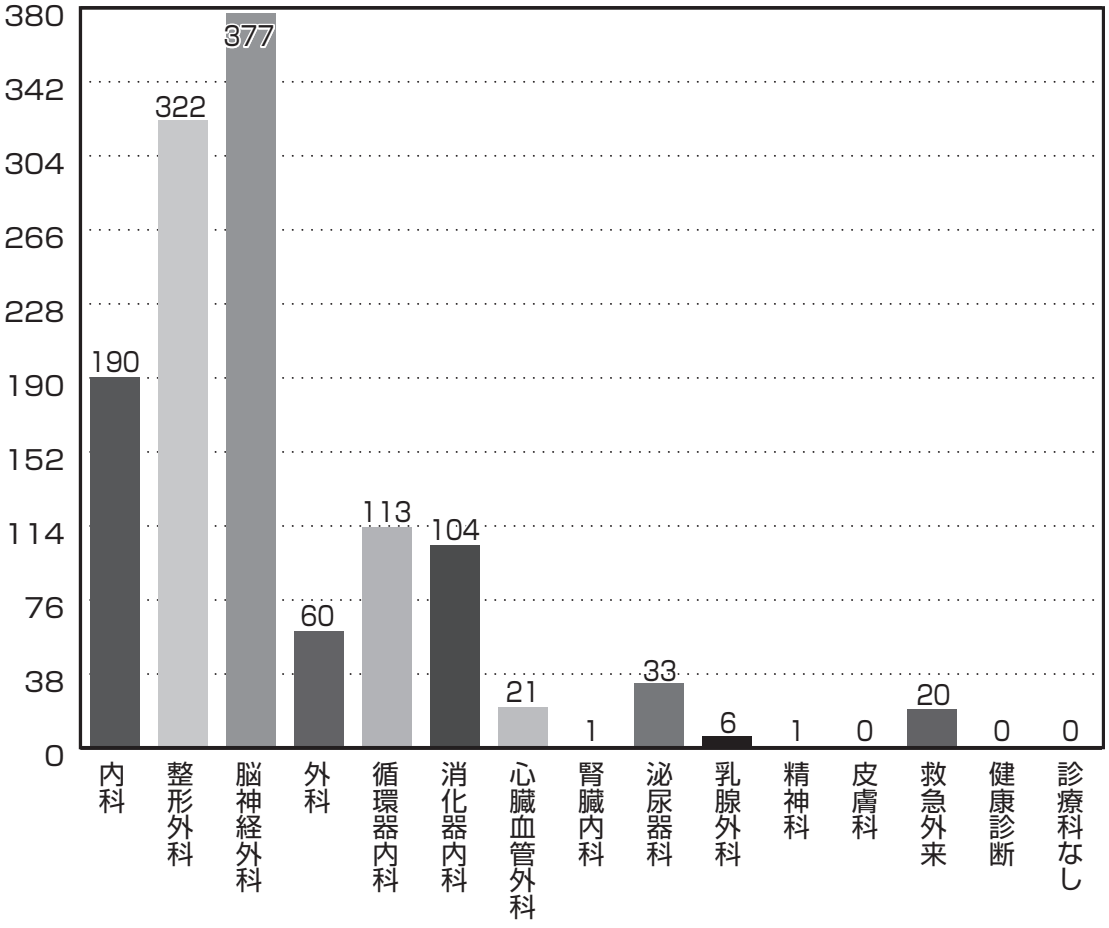


診療科別相談件数

単位：件

[診療科]	2025年度	前年度
内科	190	172
整形外科	322	287
脳神経外科	377	302
外科	60	53
循環器内科	113	103
消化器内科	104	73
心臓血管外科	21	16
腎臓内科	1	0
泌尿器科	33	27
乳腺外科	6	1
精神科	1	0
皮膚科	0	1
救急外来	20	20
健康診断	0	0
診療科なし	0	4

診療科別相談件数



●退院支援者の退院先

単位：日

平均介入日数	20.2

単位：件

長期入院患者(29日以上)数	25.3

単位：日

入院～介入日の日数	9.3

単位：件

[退院先内訳]		
自宅退院	224	20.4%
大倉山記念病院	99	9.0%
新横浜リハビリテーション病院	217	19.7%
かわさき記念病院	17	1.5%
他リハビリテーション病院	139	12.6%
一般病院	13	1.2%
療養病院	77	7.0%
老健	54	4.9%
特養	15	1.4%
有料ホーム	43	3.9%
グループホーム	4	0.4%
他施設	6	0.5%
ホスピス	13	1.2%
精神科病院	6	0.5%
地域包括ケア病棟	77	7.0%
障害者病棟	2	0.2%
死亡退院	93	8.5%
合　計	1,099	100.0%

●退院先内訳

